

オリジナル製品開発による競争力強化、 IT活用による効率化・多能工化

デニムを中心に大手メーカーや有力セレクトショップのOEMを行う縫製業者であり、多様なミシン技術を保有し多品種の製品を製造できる高い縫製技術を持っている。

2016年には創業以来の夢であった自社製品「UCHIDA HOUSEI」ジーンズの製作・販売を開始。自社の技術力・企画力を広く発信し、事業の柱であるOEMの受託拡大に繋げることを狙いとしているが、自社のブランド展開をきっかけに知名度が上昇。地理的に若い人材が確保しにくい中、人材獲得にも繋がっている。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 岡山県津山市新野山形450 | ● 設立 | 1968年 |
| ● 電話/FAX | 0868-36-2861/0868-36-2706 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | https://uchida-factory.co.jp/index.html | ● 従業員数 | 21人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 内田 政行 | | |



生産性向上

縫製にこだわったオリジナルビジネス用ジーンズの開発・販売

同社は、ジーンズが好きな大人の男性をターゲットに、国産デニム生地を使用したオリジナルのビジネス用ジーンズを開発・販売している全国でも数少ない縫製業者である。縫製に関わるあらゆる工程ノウハウを保有している同社ならではの取組みであり、職人技による独自性と完成度の高さが付加価値として認められ、東京のアンテナショップや大手百貨店などにおける展示販売では予想以上の好評を得ている。また、オリジナルの自社製品の開発・販売は同業他社に対する競争力の強化にも繋がっている。



大人のための内田縫製オリジナルジーンズ

パターンチェック工程のIT化で効率化と強みのさらなる強化

パターンチェック工程の精度が高く、後戻りが発生しないため、創業以来、納期厳守を徹底できている。確実な納期管理が当社の成長を支える要因となっているが、これまでは担当者のスキルとして蓄積されているのみとなっていた。そこでアパレルCADを導入しパターンチェックのデータ化を行うことにより、スキルの見える化を実現した。また、アパレルCAD導入で作業が高速化し、作業時間を約5時間から約2時間に大幅削減でき、この結果さらなる納期短縮が可能となり、強みをさらに強化することができた。



アパレルCADによるチェック作業

IT化による多能工化推進・従業員モチベーションアップ実現

これまで専門のノウハウや経験知識をもつ限られた担当者だけがパターンチェック工程を担当していたが、アパレルCADを導入し縫製作業しか担当していなかった従業員や新規採用者にアパレルCADの使い方を習得させることで多能工化を図っている。また、オリジナル製品開発により、UターンやIターンによる県外の若手人材を獲得できるようになった事や製造担当者へ早い段階で消費者の声を伝えられるような仕組みを構築した事で、従業員のモチベーションアップを実現している。



内田縫製を支える「ジーンズ職人」一同

ものづくり